

編集後記

小川先生はよく「私は道場に入った時から、いつ死んでもいいという気持ちで稽古している」と話しておられました。体調不良の中命がけで出席された宏道会創立35周年記念式での先生のご挨拶は、ご遺訓となってしまいました。

先生は宏道会での稽古の後、いつもご家族に「今日の稽古は気持ちのよい稽古であった。宏道会で稽古すると全身の血が入れ替わる。稽古が楽しみだ」と話しておられました。会員にとっても、先生との稽古は感動の連続でありました。

先生曰く「世間でやっている剣道は、スポーツだ。宏道会の剣道は、稽古と古

流の形と坐禅で出発点が良い。土台が本物だから、やってさえいけば勞せずしてグングン身に付いていく。年をとる程に熟し、本当の剣道ができるようになる。どうか続けていただき、本当の剣道を残してもらいたい」と。

また曰く「日本の剣道は、そのうち行き詰まるかもしれない。その時、宏道会が現代剣道の寄り所となる。だから非知り（打たれたら自分の非（欠点）を教えてもらったと感謝し、よく反省して自分の非を直し、完全なもの（^{ひじり}聖）に近づいていく）の修行をして、もっと稽古を積み腕を上げてほしい」と。

会員たちは、先生のご遺訓を心に秘め、日々剣・禅の修行に励んでおります。

合掌 編集子

禅28号（通巻208号） 定価500円（税込）

平成20年12月15日発行

編集人	中村孝
発行人	佐瀬長和

発行 人間禅出版部

〒272-0827 千葉県市川市国府台6-1-16

人間禅本部道場内

ファックス 047-373-7561

Eメール zenshi@ningenzen.org

ホームページ <http://www.ningenzen.org>